

令和5年度 学校評価(自己評価)

令和6年5月

学校法人 本郷学園 もみじ幼稚園

1. 教育方針

「幼児教育こそが大樹に育つための“根の教育”であり、自ら伸びようとしているその力を、いつくしみ育てることが幼稚園の役目である」(初代徳川宗敬園長の基本方針)

2. 教育目標

- 心身共に健康で、幼稚園生活を楽しむ
- 友達と仲良く遊ぶ
- 自分で考えて行動する
- いろいろなことに興味を持つ
- 思ったことや考えたことなどを表現する

3. 具体的な目標(こどもの姿・保育者の指導内容)

➤ **先生が大好きになる 幼稚園が大好きになる**

幼児期のこどもにとっては健康な心と体の育成は大前提である。幼稚園はこどもたちにとって家庭を離れた初めての集団であることをふまえ、まずは担任の先生に親しみを感じられるよう丁寧な対応をしていく。入園当初は保護者から離れられずともそれは自然な姿として温かく受け入れる。

幼稚園には地域の子育ての基地、という役目もある。子育ての専門家としての知識と経験を活かし、保護者に対しても大切なお子さんをお預かりしているという思いを忘れず相談には誠意をもって応じる。

➤ **好きな遊びを見つけて遊ぶ**

もみじ幼稚園ではまずはこどもが夢中になって遊べることを目指す。

夢中になれる遊びを見つけられると、こどもたちは幼稚園でも安定し、徐々に周りへの関心を広げていく。自分に自信が持て友達と関わってみようとするようになる。

こども同士のやり取りの中では、思いの違いからトラブルになることも多いが、保育者はこういったことを、こども同士が他の存在を知り、相手にも自分と同じような思いがあることを知るきっかけととらえる。それぞれの思いに寄り添い、自分の思っていることを言葉で伝えあえるよう援助していく。

➤ 主体的な取り組みをする

主体性を大切にする。好きな遊びだけでなく、指導計画に基づいた課題としての遊びにおいても、こどもたちが、（おもしろそうだな、やってみよう！）と思えるよう教材や課題、指導方法を工夫する。

年長組になると、運動会、こども会（劇の発表）といった大きな行事もあるが、保育者はこどもたちが（やらされている）と感じるのではなく（やってみたい！）と積極的に取り組めるよう活動の精選や指導を工夫する。

➤ 自然の中でいろいろなこと興味をもつ

地域でも群を抜く大きな木に囲まれた豊かな自然を生かし、こどもたちがいろいろなことに興味を持てるよう保育者も一緒に体を動かして遊びながら自然と関わる遊びや広い園庭での運動遊びに取り組んでいく。

自然物との触れ合いとしては、春と秋の虫探し。ダンゴムシ、コオロギ、セミや蝶を捕る。落ち葉で遊ぶ。お花を色水にして遊ぶ。やミカンやカキ、オシロイバナの種取りをして遊ぶ。などである。また、うさぎや金魚を飼っており、これらにエサをあげることを経験し、生き物への親しみや大事にしようとする気持ちも育てていく。

自然と触れ合い楽しく遊ぶ中で、なぜかな、といった科学の芽も育てていく。

4. 令和5年度重点目標に対する自己評価

➤ 園児数増加

〈 成果と評価 〉

定員に満たない状況が続いている現実を、教職員一人一人が真摯に受け止め、どうすれば園児数を増やすことができるか話し合いを重ね、対策を打ち出した。

なかよしくらぶの時間延長、午前保育の日を減少し保育時間の確保、Instagramの活用、入園説明会の拡充などの改革を試みたが、結果として園児増加の数字には現れなかった。

在園の保護者の方々からは、改革に対する高評価を頂いているが、数字として園児数増加に反映されるのは、もう少し時間がかかると思われる。そして更に大々的な改革が必要とされていると考察できる。

評価 **C**

➤ コロナ禍で経験できなかったことを取り戻し、コロナ前の生活に戻すだけに留まらず、それよりも上の豊かな生活を目指す

〈 成果と評価 〉

昨今、コロナ禍において制限のある保育が続いていたが、やっと令和5年度からコロナに振り回されることなく、“子どものため”に重点を置いた保育が可能になった。特に「食」を楽しめるようになったのが大きな変化である。子どもたちと色々な野菜の栽培、収穫、調理を楽しむことができた。

また、園庭に実っている柿で干し柿を作ったり、同じく園庭に実っているみかんを砂糖漬けにしてお

昼ごはんのデザートにしたり、もみじ幼稚園の豊かな自然の恵みを味わう経験を保育に取り入れることができた。

子ども同士はもちろんのこと、おうちの方同士の間関係も、コロナ禍より豊かになった感触を得ている。私語を慎まなくてはならなかったコロナ禍に比べ、おうちの方同士が集まる場面が増え、会話が弾み関係が深まり、それがアットホームな雰囲気幼稚園作りに繋がった。

評価 A

5. アンケートによる学校関係者評価の実施と評価

- 実施日：令和6年2月22日～3月11日
- 対象：全学年保護者
- 方法：アンケート用紙配布→事務室前に回収ボックス設置
- 回答率：50名/78名 約64%
- 結果：別紙参照

【自由記述の抜粋】

- 環境、先生方、雰囲気、子どもたちと保護者の様子など、とてもバランスが取れた良い幼稚園だと思う。
- 全ての職員が親身で優しく、でもハッキリと保護者に接してくださる対応の仕方は、安心して我が子をおまかせできる。
- 自分たちで工夫をして思いもよらない遊びに熱中する子どもたちを日々みて、そのような最適な環境を作ってくださっている先生方は本当にプロフェッショナルであると実感しています。人にすすめたい幼稚園です。
- 園にある梅や夏ミカン等、自分たちで収穫して食べたり飲んだりできるように先生方が工夫してくれたことが、園庭の自然の豊かさを見てこの園に決めたことを良かったと思いました。
- 本郷学園の生徒さんとの関わりや、広いグラウンドで遊んだ経験も良い刺激になりました。
- 時代の流れに合わせてながら、幼稚園での決まり事や行事の行ない方などを変化させていくのは大変なことだと思います。それでも子どものために保護者のためにとより良くなるための変化へ挑戦してくださり先生方に感謝でいっぱいです。
- 前向きに様々な改革をスピーディーにされていることに感銘を受けました。
- 長期休暇の預かり保育をしてほしい。
- お世話人さんや卒対さんなど、一部の人に負担がかかりすぎている。
- 水曜日も2時まで保育をしてほしい。
- 出欠連絡を電話ではなく、フォームやメールにしてほしい。
- 教職員の数を増やしてほしい。
- インスタの投稿を増やしてほしい。
- 昨今の状況を踏まえ、防災についてももう少し踏み込んだものになると良い。

- 毎日のお迎えの際、個人の報告だけでなく、全体の報告も伝えてほしい。
- ネット注文の写真を、べ切が過ぎてでも買えるようにしてほしい。
- 父親が迎えに行くと「お母様に渡してください」とお手紙を渡されたり、懇談会で母親が主語になる場面があることに違和感がある。育児は母親がする時代ではなくなってきているので、先生方にも意識してほしい。
- 運動会や発表会のどちらも土曜日なので、日曜日の行事も取り入れてほしい。
- 食事を残さず食べる声がけや、ごはんを大切にしよう、という食育の観点をさらに深めてほしい。
- 給食の味付けを見直してほしい。

〈 総括 〉

アンケート結果から、アンケートに答えてくださった保護者のほとんどが各項目に対する評価として「当てはまる」「だいたい当てはまる」との回答をしている。

自由記述の欄では、幼稚園の教育内容に賛同するご意見や、より良い幼稚園作りのための前向きな指摘が多く、保護者の方々のもみじ幼稚園に対する、ご理解とご協力を感じる結果となった。そうした結果に甘んじることなく改善を図らなければならない面に目を向け、より一層の努力をしていきたい。

評価 **B**

6. 対面による学校関係者評価の実施と評価

- 実施日時：令和6年3月11日 9時30分～10時30分
- 場 所：もみじ幼稚園会議室
- 出席者：父母の会代表10名・本郷学園理事長・もみじ幼稚園園長 計12名

令和5年度末に行ったアンケート結果に基づき、父母の会の代表の方々、本郷学園理事長、もみじ幼稚園園長の計12名で、学校関係者評価を行なった。

- ・ 自由記述の中で多数ご指摘頂いた、「長期休暇も預かり保育をしてほしい」というご意見を受けて。
 - ➔ これまで夏期保育が3日間だったのに対し、今年度から1週間になったことだけでも、幼稚園の努力を感じる。ニーズがあることは確かなので、追々長期休暇の預かりも着手すべき。
- ・ 「水曜日の保育時間も14時までを希望」を受けて
 - ➔ 疲れの出る週の真ん中に、午前保育がある意義はよく理解できるので、14時まででなくせめて13時までにして、昼食だけ食べて降園にしたらかなり助かる。それに伴い給食を実施日を、月水金へ変更するなどの検討の余地があるのではないか。
- ・ 「保育者の人数が足りず、目が行き届いていないのではないか」を受けて
 - ➔ この意見に賛同する評価者はいなかった。他の幼稚園に比べて保育者の数は十分だと感じる。保育補助の非常勤講師も含め、園庭・遊戯室には必ず大人を配置している。

- ・「朝の欠席連絡をメールやフォームで出来るようにしてほしい」を受けて
 - ➡現在の園児数では電話で対応できる。電話だと丁寧なコミュニケーションをとることができるメリットもある。今後園児が増えたら取り入れたらどうか。
- ・遊戯室の窓の装飾が劣化しているとの指摘を受けて
 - ➡園児募集の観点からも修繕の必要あり。

評価 **B**

7. 今後取り組むべき課題

自己評価及び他社評価を実際の保育に生かす

学校評価をホームページに開示するのみに留まらず、職員間でも結果を共有し、今のもみじ幼稚園の課題を共通理解した上で、日々の保育に勤しむ。また、アンケートの質問事項ではなく自由記載された具体的な要望やご意見に対しては、可能な限り解決に臨む。

以 上